



## 2024年地本新春団結旗びらき

# 組織強化・拡大の更なる前進に向けて

## 公共交通の利便性・安全の確保を

2024年新春団結旗びらきは、1月13日11時から「奉還町りぶら」において25名の参加で開催した。

第1部は「組織強化・拡大の更なる前進に向けて」と題して、勝田組織部長の提案で、今年の拡大行動の意思統一の確認を行った。

第2部では、片岡副委員長の司会により、小林委員長あいさつ、杉本さん（岡山連合）の乾杯、そして、各支部・分会の代表者の創意工夫した決意表明を行いました。その後、福引を行い、この一年間の闘いに向けた決意を全員で固めあった。



### (第1部)

#### 拡大行動の意思統一

2012年の「組織拡大を喫緊の課題として全国統一行動に決起する」という闘争指令1号以降これまで300名に及ぶ復帰・加

入の仲間を迎え入れた。しかし全国的にはその数をはるかに上回る退職者によつ



### メッセージ

#### 国労西日本本部

現在の組織数は4000名を切っている状況である。岡山地方本部としても、あらためてこれを機に組織拡大に向けて意思統一を図り、2024年を「組織拡大の年」とするよう組織の総力を挙げて「行動に移す」ことが求められている。コロナ禍で非常に動きにくい状況が続いたが、できる行動を模索しながら取り組んでいこう！とにかく動かなければ何も生み出すことはできない。重要なことは、結果として拡大に至らなくてもその過程で動いたことは必ず今後の運動につながってくると



いうことである。厳しい状況を逆にチャンスと捉え、私たちが自身の「生き様」をかけたこの国労組織・国労運動の灯をともし続けていくために、一人ひとりが奮闘しよう！

### (第2部)

#### 小林委員長あいさつ

新年早々、能登半島の地震があり、一日も早い復興を願っています。原発も放射線漏れがないとのことですが、これからも脱原発の運動をしていこう。

海保とJAL機の衝突は、JRに置き換えたなら、ヒューマンエラーの装置をきちっとして、歯止めをかける体制を取らなければならぬ。今後も安全を追求していく。ローカル線問題では、芸

備線再構築協議会の会議が開催されると聞いているが、駅の無人化反対行動と合わせて、宣伝行動をしていこう。

合理化問題では、保線・電気等の提案がなされている。問題点を掘り起こし、交渉していく。

春闘は、追い風が吹いていると捉えて取り組んでいきたい。

組織拡大は動かなければならない。できるところから、やってみよう。

#### 各支部・分会決意表明

○物価高・低賃金・合理化など問題がたくさんあります。組合員との情報共有、上部機関の連携をとりながらやってみよう。  
○組合員が一枚岩になり、運動を精一杯やってみよう。

#### 2.11反核・軍縮・日本原基地撤去を求める岡山県民集会

日時 2024年2月11日(日) 11時～  
場所 勝田郡奈義町豊沢 (鷲田さんの田んぼ)